

ミッドランド毎日フォーラム  
(毎日新聞社主催) の第28回例会  
は12月3日、名古屋市のキャッス  
ルプラザで開かれ、民主党の細野  
豪志組織・企業団体委員長が「民  
主党の政権運営」をテーマに講演  
した。細野氏は「(大臣など) 政  
務三役は大車輪の活躍をしてい  
て忙しい。政府に入っていない議員  
の活躍の場面をもっともっと考え  
る時期にきている」と指摘した。

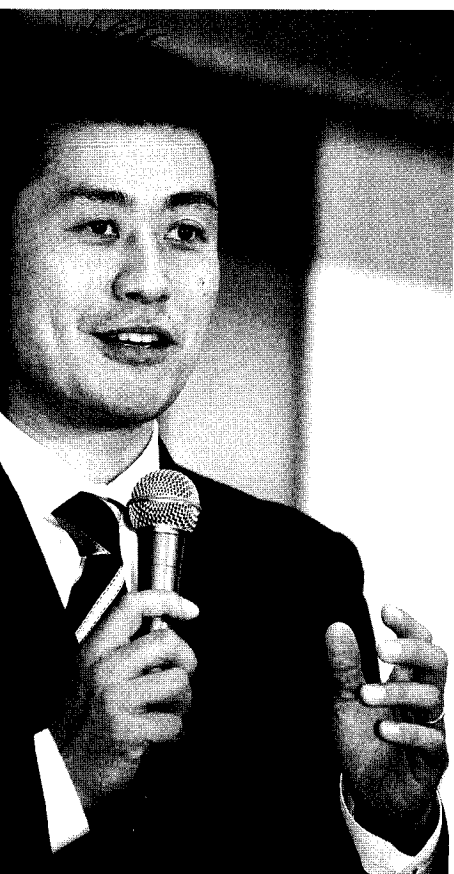
\* \* \*

この臨時国会は、与党になった  
民主党・鳩山(由紀夫) 政権も、  
野党になった自民党も、双方手探  
りのままで終始した。与野党それ  
ぞれの国会対策はどうあるべき  
か、十分に準備できていないこと  
があり、国会の若干の混乱につ

ながった。

年明けの通常国会は改革のチャ  
ンスかもしれない。与野党の立場  
(攻守) が入れ替わり、国会の仕  
組みの是非について双方が客観的  
に見えている時期だ。国会改革は、  
与党に有利なものだけでは意味が  
ない。双方に不利なものが含まれ  
ているが、国民の期待に応えるに  
は「この辺でやらなければならな  
い」という思いを共有できるかど  
うかにかかっている。

政権運営のキーワードの一つが  
「政治主導」。裏腹に「脱官僚依存」。  
自民政権時代、政策は省庁の事務  
次官をトップにする官僚組織に決  
定され、大臣は最後に判を押して  
いた。今は大臣、副大臣、政務官  
の政務三役が機能し、主導的役割



## 政府外与党議員の活躍の場を検討

### 与野党で国民の期待に応える国会改革を 景気の二番底は何としても阻止する

を果たしている。

「政府与党の二元化」は、政治  
主導、官僚依存脱却とセットだ。  
自民党が与党時代は、政策的影響  
を及ぼそうとする場合、官僚に働  
きかけた。官僚もそれを有効に活  
用してきた。

しかし本来、官僚は政治家の指  
導の下で専門家としての役割を担  
うべきだ。与党議員が政策に影響  
を及ぼす場合は官僚に言うのでな  
く、政務三役に直接言うべきだ。

陳情も同じ。首長は東京などに  
出向いて官僚に陳情していたが、  
あまりにも非効率。地元の要望が  
あれば、わざわざ東京などへ行っ  
ていたただかなくても、地元議員が  
陳情をしつかり聞いて、政治的に  
判断して政務三役に伝える。それ  
を政務三役がしつかり受け止め  
て、官僚に指示して下ろせば、政  
策は実行でき政治主導は完結でき  
る。

民主党には、実績・見識・能力  
のある多士済々の議員がたくさん  
いる。政府に入っていない議員の  
活躍の場はいくつか考えられる。

政府に入る議員の数を増やすた  
めの法改正は一つの方法だ。二つ  
目は、特定のプロジェクトについ  
てチームを作って話し合い、政府

が実現する。これを考え始めている省庁もある。

三つ目は事業仕分けのパターン。国民の税金を使う予算づくりについて、国民の皆さんから見た妥当性を徹底して検証することは政治プロセスで非常に重要だ。国民に分かりやすく、納得してもらえる言葉で議論する。今回の事業仕分けは、トータルな意味で非常に大きな効果を発揮した。これと同じようなパターンで、与党議員が政府の政策決定に協力できる仕組みをいくつか考える余地はあ

る。まだ具体的に披露できる段階ではないが、今度の通常国会には、事業仕分けと同様のパターンで、与党議員が活躍できるシーンを見せられるように仕掛けをやっていきたい。

もう一つは、現場を見ること。140人以上いる新人議員(衆院)は今まで永田町にいなかったから、感覚がフレッシュだ。全国を回って、現場の厳しい声も聞いて大臣に届ける。忙しい政務三役の目や耳となることは大変重要だ。その役割を果たしてもらう仕掛け

は、やっていかねばならない。経済と雇用は最大の政治課題だ。

09年の2、3月から経済指標上は底をうち、若干持ち直しているが、まだ、水面上に出していない。二番底が怖いのは、景気が水面上に出る前にもう一度落ちると、一番底よりさらに深い可能性があることだ。何としても阻止せねばならない。

民主党の経済政策は、基本的な考え方が自民党と大きく違う。自民はサプライサイドに焦点を当て過ぎ、ダイヤモンドサイドが非常に傷つけられ

た。われわれは、ダイヤモンドサイドに焦点を置いて考える。子ども手当や高速道路無料化など家計を温めることで、みなさんが安心して生活できる環境を整え、貯蓄、給料などを自然に消費に回せる環境を整えようという政策だ。方向性は正しい。

ただし、足元の経済状況を考えて時、このダイヤモンドサイドだけの対策で本当に景気は持つだろうか。子ども手当が若い世代に届くのは来年(10年)6月で、半年のタイムラグがある。この間、どうやって経済をつなぐか。経済政策ではかなりの部分をサプライサイドに焦点を移し、そこについて集中的に政策を打ち出していくべきだ。

雇用を守ることは企業のみならずにもぜひお願いしたい。われわれも雇用を守っていただく政策を重視していく。努力していただきたい。

こうしたことで厳しい経済状況を乗り越え、来年度予算では、ダイヤモンドサイドを温める政策を実行することによって、経済を落ち込ませずに日本の社会を安定的に回復させるような軌道に乗せるように頑張っていきたい。

## フォーラム だより

### ◆アジア調査会

馮台北駐日経済文化代表処代表が講演

例会を12月3日、東京都千代田区の帝国ホテルで開き、台湾の駐日大使に相当する馮寄台・台北駐日経済文化代表処代表が「台湾・日本関係～この1年」と題して講演した。

### ◆毎日世論フォーラム(毎日新聞西部本社)

大島自民党幹事長が講演

第213回例会を12月2日、福岡市の西鉄グランドホテルで開き、自民党の大島理森幹事長が「政権奪回への戦略」と題して講演した。

### ◆毎日21世紀フォーラム(毎日新聞大阪本社)

民主党の渡部氏が講演

第87回例会を12月7日大阪市北区のリーガロイヤルホテルで開き、民主党の前最高顧問、渡部恒三衆院議員が「鳩山政権の今後」と題して講演した。

### ◆神奈川21世紀の会(毎日新聞横浜支局)

丸山横浜税関長が講演

第63回神奈川部会を12月10日、横浜市中区のワークピア横浜で開き、丸山純一横浜税関長が「港ミナトのいい話」と題して講演した。

### ◆毎日新聞企業人大学(毎日新聞千葉支局)

元千葉ロッテの小宮山投手が講演

12月定例講座を12月15日、千葉市美浜区のホテル・ザ・マンハッタンで開き、千葉ロッテを昨シーズン限りで退団した小宮山悟投手が「24時間の使い方」と題して講演した。

### ◆毎日政経文化セミナー(毎日新聞さいたま支局)

ハイデイ日高の神田会長が講演

第192回例会を12月17日、さいたま市のさいたま商工会議所で開き、ハイデイ日高の神田正会長が「私のラーメン人生」と題して講演した。

## ミッドランド毎日フォーラム 第28回